

## W212b V694 Mon (MWC560) の2016年アウトバースト時における可視分光観測

安藤和子、赤澤秀彦、福田尚也、田邊健茲（岡山理科大学）

V694 Mon（いっかくじゅう座V694、別名MWC560）はM型巨星と白色矮星の共生連星と考えられている。この星はMerrill & Burwell (1943) によってB型輝線星として発見され、MWC560として登録された。そして1973年にSanduleak & Stephensonはこの天体が共生星であるとした。1990年に観測史上最初のアウトバーストが観測され、極大等級は $V=9.2$ となった。このとき輝線に青方偏移した吸収線が伴ったP Cygni プロファイルが見られ、ピークは6500 km/sであることが報告されている (Tomov et al. 1990 など)。

そして、2016年2月に8.8等まで増光していることが発見された (AAVSO:Time Sensitive Alerts)。

今回我々は、岡山理科大学天文台の28cm 分光観測望遠鏡に低分解能可視分光器 DSS-7 を取り付けてこの天体の分光観測を行った。最初に観測した2016年11月2日 UT のスペクトルの Balmer 線中に明瞭な P Cygni プロファイルが得られ、それから求められた膨張速度はおよそ1200 km/sであった。

本講演では、その後のスペクトルならびに膨張速度の変化、1990年のアウトバーストとの比較などを報告する。